

6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 事業費 8億 7,545万円

財源	国のお金	1,860万円	施策実現のための 主な事業費	十文字地域多目的総合施設整備事業	4億2,056万円
	県のお金			雄物川福地コミュニティセンター費	1億1,201万円
	市の借金	4億8,720万円		地域づくり市民活動補助事業	5,250万円
	その他	1,235万円		地域づくり支援事業	3,435万円
	市のお金	3億5,730万円		その他	2億5,603万円

市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、様々な課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆**地域運営組織形成支援事業 (765万円)**
住民が主体となって地域運営を行う地域運営組織の形成に向け、ワークショップや先進地視察、研修等を行います。
- ◆**地域づくり市民活動補助事業 (5,250万円)**
住民主体による地域の特性を活かしたまちづくりを推進するため、地域住民による自主的・主体的な地域づくり活動や地域課題の解決を図る活動を支援します。
- ◆**町内会活動補助事業 (1,700万円)**
住民自治の円滑な推進を図るため、自治会や町内会、集落等が行う地域づくり活動や備品整備に要する経費を支援します。
- ◆**雄物川福地コミュニティセンター整備事業 (1億 1,201万円)**
雄物川福地地区の地域住民による地域課題の解決や地域の活性化に取り組むための拠点施設として、雄物川福地コミュニティセンターの建設を行います。
- ◆**十文字地域多目的総合施設整備事業 (4億 2,056万円)**
行政機能、防災拠点機能、生涯学習機能に加え、市民交流スペースや健診スペースを備えた多目的総合施設の建設工事を行います。

6-2 男女が尊重し合う社会づくり

事業費 231万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	ワークライフバランス推進事業	180万円
	県のお金			男女共同参画社会推進事業	51万円
	市の借金				
	その他				
	市のお金	231万円			

男女が互いを尊重し合いながら、家庭や職場、地域などの中で、一人ひとりが輝き、自分らしく生きられる社会が形成されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆**ワークライフバランス推進事業 (180万円)**
働き方改革を推進するために、企業・団体の経営者、従業員それぞれに向けたワーク・ライフ・バランスに関する講演会や研修を開催します。
- ◆**男女共同参画社会推進事業 (51万円)**
性別に関わりなく一人ひとりが輝き自分らしく生きられるまちの形成に向け、市民による推進協議会やイベントを開催します。

6-3 情報を共有する環境の整備

事業費 2億 3,866万円

財源	国のお金	3,358万円	施策実現のための 主な事業費	公文書館整備事業	1億2,965万円
	県のお金			行政情報発信事業	3,827万円
	市の借金	8,620万円		市政協力員事業	3,518万円
	その他	1,739万円		地域情報通信網管理運営費	2,256万円
	市のお金	1億 149万円		その他	1,300万円

市民と行政との情報共有が図られ、市制への関心が高まっていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆公文書館整備事業 (1億2,965万円)

横手市公文書館オープンに向けて、体育館等の施設を解体し、敷地内を整備します。

◆行政情報発信事業 (3,827万円)

「市報よこて」の制作や、かまくら FM 内で「行政情報コーナー」の放送などを行います。

◆横手市情報発信戦略プロジェクト事業 (307万円)

「横手市情報センター」や「横手市 LINE@」の管理運営をし、市民の皆さんと一体となった情報発信の推進に努めます。

6-4 市内外との交流連携の推進

事業費 4億 1,429万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	ふるさと納税PR事業	3億8,688万円
	県のお金	375万円		移住定住促進事業	929万円
	市の借金			ふるさと会支援事業	780万円
	その他	38万円		シティセールス事業	289万円
	市のお金	4億1,016万円		その他	743万円

市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆ふるさと納税PR事業 (3億8,688万円)

ふるさと納税制度を通じて、地域の事業者育成や産業の活性化、横手市の知名度向上、横手ファンの拡大につなげます。

◆移住定住促進事業 (929万円)

- ・移住コンシェルジュ、アドバイザーが移住希望者の相談等を受けるほか、首都圏等での移住相談会やセミナーに参加し、横手の魅力を伝えます。
- ・また、東京圏への過度な一極集中の是正及び地域の中小企業等における人手不足の解消を目的として、地方創生推進交付金を活用して移住者に対し支援金を支給します。
- ・横手市への移住を促進するため、市外の方を対象に移住体験ツアー等を開催します。

◆シティセールス事業 (289万円)

「おもてなしと行ってみたいまち」No.1 を目指し、各部署が連携して、横手市の魅力を全国に発信していきます。

7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立 事業費 16億 4,632万円

財源	国のお金	4,585万円	施策実現のための 主な事業費	情報システム運用管理費	2億6,342万円
	県のお金	1億1,491万円		雄物川庁舎整備事業	2億4,700万円
	市の借金	2億 770万円		議員人件費	1億9,449万円
	その他	5,217万円		個人番号カード等交付事務費	1,472万円
	市のお金	12億2,569万円		その他	9億2,669万円

行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、PDCA サイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最小の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆雄物川庁舎整備事業 (2億 4,700万円)

雄物川庁舎の老朽化に伴い、行政機能に加え地域防災の拠点と市民交流の場となる庁舎を新たに整備します。

◆証明書等コンビニ交付費 (611万円)

マイナンバーカードをお持ちの方は、市が発行する各種証明書等をコンビニエンスストアで取得できます。

7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進 事業費 73億 6,036万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	公債償還元金	59億4,457万円
	県のお金	1,607万円		公債償還利子	4億4,598万円
	市の借金	2億9,640万円		ふるさと応援基金積立金	3億1,342万円
	その他	2億4,296万円		財産経営推進計画実施事業	3億1,115万円
	市のお金	68億 493万円		その他	3億4,524万円

限られた経営資源【ヒト(人材)・モノ(施設等)・カネ(財源)]を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営がされていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆財産経営推進計画実施事業 (3億 1,115万円)

人口や財源の減少などに対応し、当市の規模に応じた適正な公共施設の数や機能に再構築することを目的として、横手市財産経営推進計画を作成しました。

この計画に基づき、今年度は旧阿気小学校・旧大雄こどもセンター、旧南小学校、旧大沢保育所などの解体工事を行います。また、次年度以降に向けて、旧大森中学校・旧大森武道館、旧黒川小学校の解体工事設計業務を行います。

このほか、施設毎に定めた統廃合などの対応方針をより具体化し、長寿命化や改修などの維持管理のスケジュールを定める個別施設計画の作成に着手します。

◆公共施設トイレ洋式化事業 (520万円)

利用頻度が高い公共施設のトイレを順次温水便座付洋式トイレに改修します。今年度は、西成瀬地域センター、浅舞公民館蛭野分館、里見公民館、十文字西地区館など7施設のトイレを改修します。

7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実 事業費 80億5,015万円

財 源	国のお金	1,028万円	施 策 実 現 の た め の 主 な 事 業 費	人件費	79億6,306万円
	県のお金	1億4,382万円		特別職人件費（三役等）	4,840万円
	市の借金			職員研修及び厚生費	2,561万円
	その他	1億 780万円		特別職人件費（教育長）	1,240万円
	市のお金	77億8,825万円		その他	68万円

職員一人ひとりが、市民(お客様)の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応していることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆厚生費（2,094万円）

職員が心身ともに健康で職務に精励するとともに、家庭生活との両立が実現できるよう職場健診やストレスチェックを行います。

◆職員研修費（467万円）

職員一人ひとりの知識や技術が向上し、同時に全体の資質も向上していくよう職員研修を行います。



研修風景

気になる

あの予算をもっと知りたい 06

自主財源確保のためにどんな取り組みをしているの？

3ページでも記載しているように、自分たちの力で確保した財源を自主財源といい、横手市の歳入(収入)のうちその割合は 27.7%です。自主財源の確保については重要な課題となっていますが、横手市では解決に向けて次のような取り組みを実施しています。

< 自主財源確保のための事例 >

◆市報への広告掲載

毎月1日号の裏表紙に4枠の広告を掲載しています。(A4 1/4サイズ、フルカラー)

◆インターネット公売の実施

YAHOO! JAPAN官公庁オークションを利用して不要になった物品を売却しています。(年6回実施)



◆自動販売機設置の入札導入

公共施設内にある自動販売機を設置する事業者を一般競争入札で募集しています。平成30年度末現在設置箇所数 35



◆水道メーター検針票裏面への広告掲載

水道メーター検針時に発行される検針票の裏面に広告を掲載しています。